



第30回幸手市さくらマラソン大会実行委員会
委員長 宇津木 勝広さん

～委員長としての今回のさくらマラソン大会
への思いをききました～

令和になってから初めての幸手市さくらマラソン大会を開催できましたことに深く感謝申し上げます。

前回の大会から4年経ち、多くの不安があり、開催するのはとても大変なことだと思っていました。しかし、役員のみなさんがblankやいろいろな困難があるのにも関わらず、以前の経験をもとに、うまくいった方法を共有したり、改善点を話し合ったりなど、元気に積極的に協力してくれました。そのことが大会をスムーズに運営ができた要因だと考えています。

中止と延期が続き、さくらマラソン大会はどうなってしまうのかと役員だけではなく、ランナーや市民のみさなさんの中でもそう思った方がいたのでは、と思いますが、開催できてとてもよかったです。

今回のさくらマラソン大会は、ランナー、大会役員、実行委員、競技役員など多くのみなさんの協力のおかげで成功することができました。ありがとうございました。

今回のさくらマラソン大会は、ランナー、大会役員、実行委員、競技役員など多くのみなさんの協力のおかげで成功することができました。ありがとうございました。



▲給水所で水分補給。



▲和太鼓「楽」が力強い応援をしてくれました。

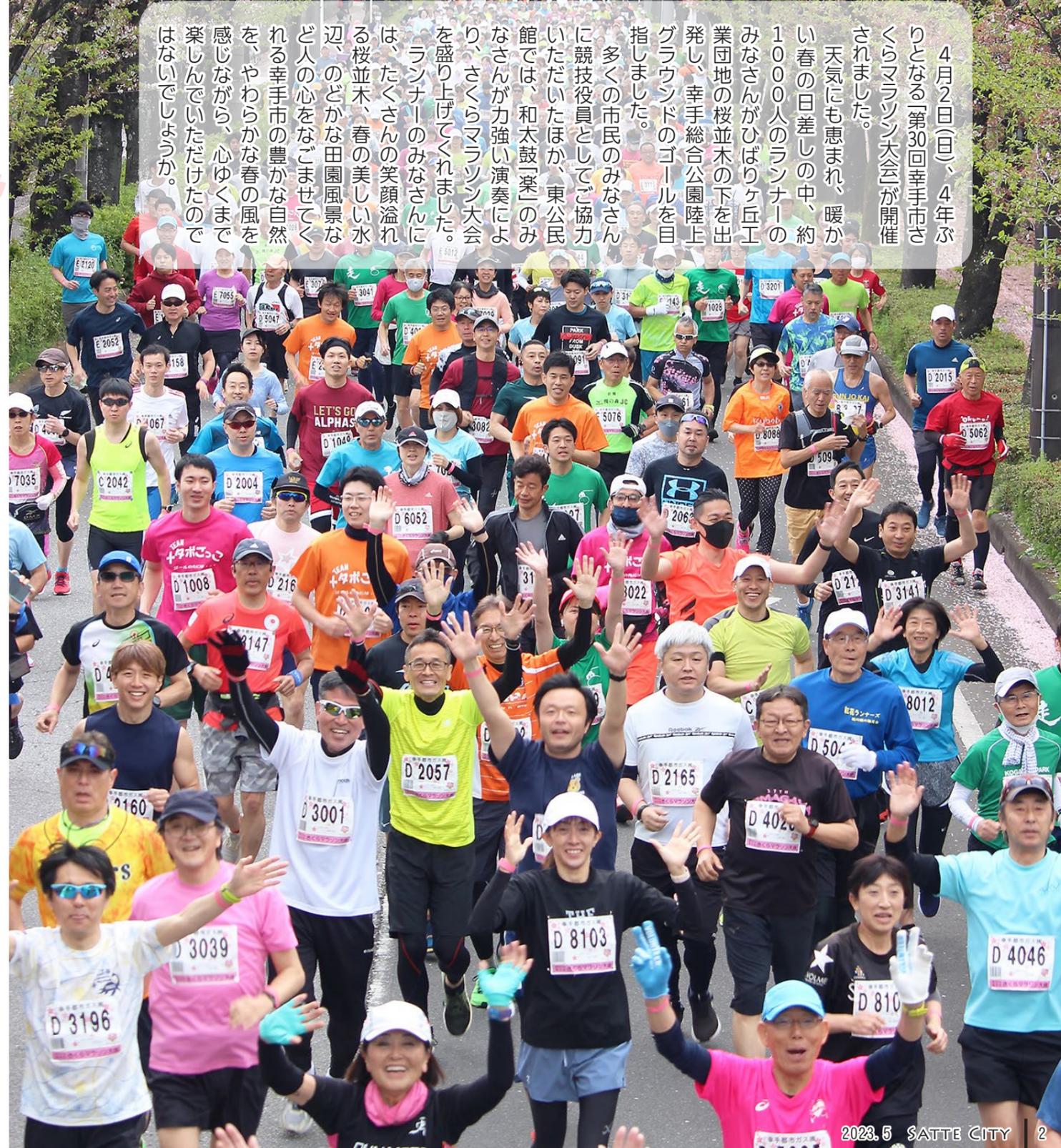


▲完走おめでとうございます！



▲笑顔でゴールに向かいます！

第30回 幸手市さくらマラソン大会



4月2日(日)、4年ぶりとなる「第30回幸手市さくらマラソン大会」が開催されました。

天気にも恵まれ、暖かい春の日差しの中、約1000人のランナーのみなさんがひばりヶ丘工業団地の桜並木の下を出發し、幸手総合公園陸上グラウンドのゴールを目指しました。

多くの市民のみなさんに競技役員としてご協力いただいたほか、東公民館では、和太鼓「楽」のみなさんが力強い演奏により、さくらマラソン大会を盛り上げてくれました。

ランナーのみなさんには、たくさんの笑顔溢れる桜並木、春の美しい水辺、のどかな田園風景など人の心をなごませてくれる幸手市の豊かな自然を、やわらかな春の風を感じながら、心ゆくまで楽しんでいただけたのではないのでしょうか。